

せんさんばやくねん
千三百年の
れきし
歴史息づく

多賀城いきもの

みちしるべ

TAGAJO IKIMONO
MITSIRUBE

植物編

カタクリ

だいどころ はな
台所にある花!?

お料理に使う「かたくり粉」は、昔はこの花の根っこからとっていたよ(今はじゃがいも)。昼間は花びらが開いて上向きに反り返って、雨のときや夜は花びらがとじるよ。

ハギ

にほん あき はな だいひょう
日本の秋の花の代表

「万葉集」という昔の人が書いた歌を集めた本にいちばん多く登場するよ。宮城県の「県の花」にもなっているよ。

アヤメ

いろ き ふじん
むらさき色の貴婦人

多賀城市の「市の花」だよ。花びらの付け根にあみの目のような模様があるのが特ちょうだよ。

クサギ

いと
糸やぬのをそめる

青い小さな実で糸やぬのをそめるとききれいな青色にそまるよ。花びらに見える赤い部分は「ガク」で、花は白いんだよ。

ショウジョウバカマ

おサルさんのハカマ??

「ショウジョウ」は中国のそうぞう上の生きもので、赤い顔をしたサルのような見た目をしているよ。この花も赤っぽい色から「ショウジョウ」と名前がついたよ。

サクラ (ソメイヨシノ)

ひんしゅ
品種がたくさんある

よくみんながお花見するサクラは「ソメイヨシノ」で、江戸時代に作られた花なんだよ。「ヤマザクラ」はずっと昔から日本にあった花だよ。

ヤマザクラ

花の葉は
うすいピンクだよ
花と葉っぱが
いっしょに出てくるよ

ヤマブキ

いろ な まえ
色の名前になった

クレヨンや色えんぴつにある「やまぶき色」はこの花から名前がついたよ。小さくてかわいい花だけバラの仲間だよ。

ヒガンバナ

たくさんの名前がある

秋のお彼岸のころになるとさく花で、地いきによっていろいろな名前がばれているよ。「曼珠沙華」(仏教の言葉で「赤い花」)という名前もあるよ。

ヘクソカズラ

きれいなのに残念な名前

葉っぱをちぎったり、実をつぶすとくさいにおいがするよ。「屁(おなら)」と「糞(うんち)」だなんて、ひどい名前だね!

モミジ

あか きいろ は ひろ
赤や黄色の葉っぱを拾おう

葉っぱが手のひらのような形で、秋になると緑色から赤や黄色に変わるよ。昔の人は、山の色が秋に変わることを「もみつ」と言っていたよ。

多賀城のいきものたち

みなさんが住んでいる多賀城市。

この名前は、約1300年前の奈良時代に東北のせいじや文化の中心だった「陸奥国府多賀城」が由来といわれているよ。

多賀城はそのころから自然もゆたかで、たくさんの虫や動物、植物たちが人といっしょに生きてきたんだ。

今も多賀城市では、昔と変わらず

いろいろないきものたちに出会うことができるよ。
この地図を見て、おうちの人といっしょにさがしてみてね!

★ワンポイント

スタジオブリの「木のけむ」にも「ショウジョウ」が登場するね!

★ワンポイント

これがハギだよ!
これの仲間「花札」にも登場するよ!

エノキの木があるよ!
ムッチーに会えるかも!

花が咲くと
葉っぱが出てくるよ

野ブドウのような丸い実は
ドライフラワーで人気だよ

あんないやく
案内役「ムッチー」
オオムラサキというちょうちんの幼虫。
ツノがじまん。エノキの葉っぱに
くっついて大きくなるよ。

ゆたかな
自然とともに
このまちで
くらしたい

たがじょうし
多賀城市
エリアマップ

このエリアの地図だよ!

ムッチーからひとこと
氣をつけよう!

植物をさがす時は、
入ってはいけないところに行かないようにしよう。
あぶないし、かんきょうを
こわしてしまう
かのうせいがあるよ。

多賀城には千三百年前から愛されている植物がたくさん！



みんなは万葉集って知ってるかな？ 1300年前、多賀城がつくられたころにできた日本でいちばん古い歌を集めた本だよ。この本を作ったうちの一人に大伴家持という人がいて、この人はえらい役人として日本のいろいろなところ

ろで仕事をしたんだけど、最後にいたのが多賀城といわれているんだ。そのころの人們が歌に詠んだ植物が、今も多賀城にはたくさんあるんだよ。千年前の人と同じ花を見ているなんて、すてきだね！

大伴家持が詠んだ植物の歌

撫子が花見るごとに

娘子らが笑まひのにほひ

思ほゆるかも

万葉集巻十八四二四

訳…なでしこの花を見るたびに、あの人の笑顔の美しさを思い出すなあ～

「あの人」は、都に残してきた家持の妻のことだよ。家持は遠いところで仕事をしていたから、家で待っている妻を思っ、庭になでしこの種をまいていたよ。



家持さんは妻を愛していたんだね！



万葉集にはほかにもこんな身近な植物が登場しているよ！

アジサイ



イネ



ツツジ



クリ



ススキ



クリは縄文時代、イネは弥生時代から食べていたんだって！



万葉集に登場する植物たち

アヤメは万葉集に出てこない？

「あやめぐさ」を詠んだ歌が12首あって、そのうち9首が大伴家持の歌だよ。だけど「あやめぐさ」はアヤメではなく「シヨウブ」のことなんだ。

「シヨウブ」は5月5日のこと



うら側の地図にも万葉集に出てくる植物がたくさん！万葉集マークがついているよ。



植物に出会える本

『朝ごはんは、お日さまの光！植物のはなし』

マイケル・ホランド 文
フィリップ・ジョルダーノ 絵
徳間書店児童書編集部 訳
徳間書店

みんなの朝ごはんは何か？ 植物の朝ごはんは、お日さまの光。この本では、植物の特ちょうといっしょに人間と植物のかかりについてカラフルなイラストで説明されているよ。

ジャンル 児童書/学ふ/理科/植物

請求記号 128



『子どもと一緒に見たい道草の名前』

稲垣栄洋 監修
加古川利彦 絵
マイルスタッフ

お散歩しながら、どんな植物がいるか、親子でいっしょに観察してみよう！カタバミという植物の葉を見つけたら10円玉をこすってみて！どうなるかな？遊び方もしょうかいしているよ。

ジャンル スポーツ・アウトドア/アウトドア/フィールド図鑑

請求記号 105



図書館でさがしてみてね！



『100さいの森』

松岡達英 著
伊藤弥寿彦 監修
講談社

いまから約100年前、東京のまんなかに人の手で木を植えた森がつくられたよ。どうしてこんなに大きな森に育ったんだろう？ 森の成長と変化の物語をのぞいてみよう。

ジャンル 児童書/絵本/国内絵本/国内絵本

請求記号 062マツ



日本で初めての色つき植物図かんと言われているのが、江戸時代に生まれた『本草図譜』。昔の人が書いたきれいな絵といっしょに植物のことが学べるよ。美しい日本画を楽しんでみよう！

ジャンル 自然科学/植物学/植物学/植物学

請求記号 066



『美し、をかし、
和名由来の江戸花図鑑』

田島一彦 著アートディレクション
マイケル・ブルーシャ 訳
マックリース・ダニエル 訳
ブレインウッズ株式会社 訳
パイインターナショナル

家のようにゆっくりできる、みんなのための図書館だよ。

多賀城市の図書館



とても広くて本がいっぱい！好きな本がきっと見つかるよ。

ワクワク！キッズコーナーもあるよ！

じかん：午前9時から午後9時30分まで
やすみ：年中無休
ばしょ：〒985-0873 多賀城市中央2丁目4-3多賀城駅北ビルA棟
でんわ：022-368-6226
いきかた
電車で：JR仙石線 多賀城駅北口から徒歩1分
(JR仙台駅から多賀城駅まで電車で約20分)
車で：多賀城ICまたは仙台港北ICより10分
駐車場：市営駐車場

多賀城市からのメッセージ

「多賀城」がつくられたのは、奈良時代の神亀元年（724年）。令和6年（2024年）には、なんと1300年をむかえました。わたしたちがくらすまちはこんなにも長いれきしがあり、ゆたかな自然が広がっています。今の多賀城のまちがあるのは、これまでたくさんの方が協力して歩んできたおかげです。自然を大切に、共に生きてきたからこそ、今のわたしたちのくらしがあるのです。

この「多賀城いきものみちるべ」は、みなさんに多賀城の自然のゆたかさ、いつも見て、聞いて、香りをかいて、自然にきょうみをもってもらいたいと思っ作りました。昔の人は自然を見て感じた思いを和歌や文学として表していました。自然だけでなく和歌や文学についてももう少し知りたいと思ったら、図書館の本で調べてみるのも楽しいですよ。

多賀城いきものみちるべ〈植物編〉

発行月：令和7年3月 発行：多賀城市 企画：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
編集・文：谷津智里 (Bottoms) デザイン・イラスト：白田亜悠 (白田亜悠デザイン) 制作協力：東北緑化環境保全株式会社 参考：万葉植物の歌 鑑賞事典/監修 坂本信幸/和泉書院